



50周年に向けて、各学年から記事を集めています。
今回は4年生です。ぜひご覧ください。

はじまりはみんなちいさかった…

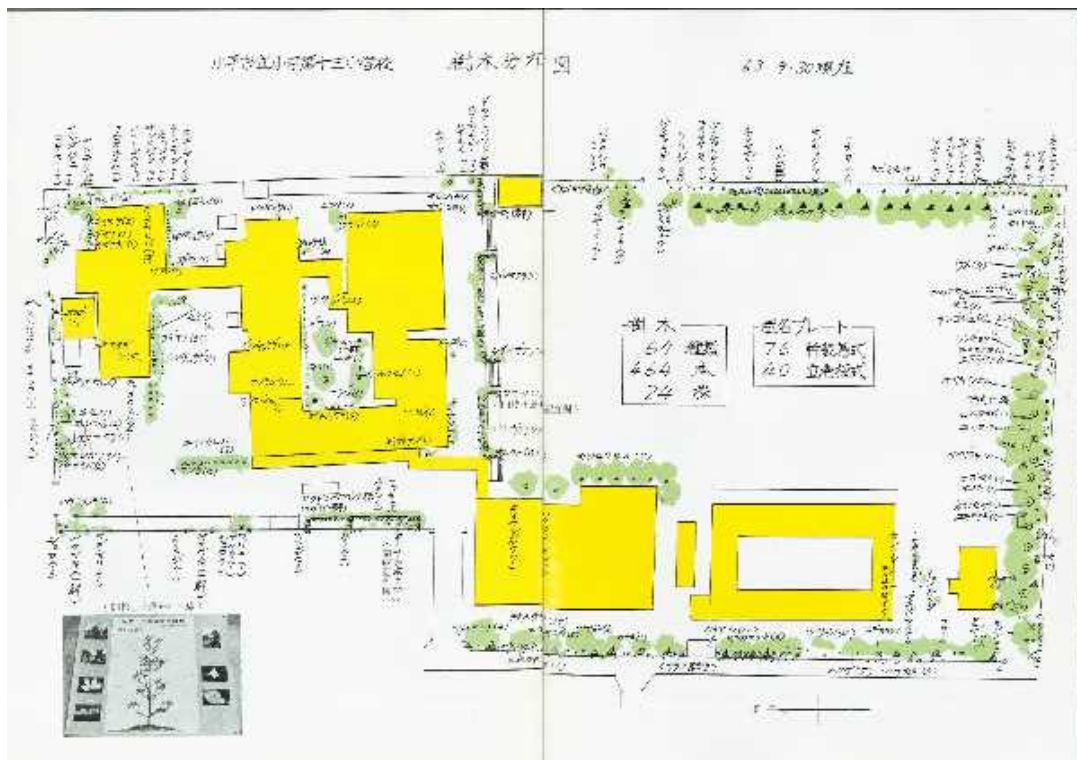
開校二十周年の記念誌を開くと、昭和63年の校庭の樹木分布図がありました。当時の十三小は今よりも多くの樹木に囲まれていましたが、どの木も若く小さいものでした。樹木64種類、464本、24株。図の左下には開校10周年で植えられた北門のタイサンボクが描かれています。今の大木からは、当時の姿が想像できません。

先日、ある卒業生の方がホームページを見て、現在の大きくなったタイサンボクに驚いていらっしゃいました。

この図が書かれた後、体育館東側の道路拡張や北校舎の増築、校庭芝生化によって、学校の様子も変わってきました。大きくたくましくなった木もあれば、今はなくなってしまった木もあります。

開校から50年、ずっと子どもたちを見守ってくれてきたタイサンボクは、これからも十三小の子どもたちのことを応援してくれると思います。

(4年 学年主任)



豆知識「たいさんぼく」もご覧ください。 http://kodaira13.blogspot.jp/2016/05/blog-post_22.html